

搬入出車両等による安全確保を含めた地域住民の合意及び代替え地の合意迄東京都との
『町田市金森六丁目1406番1外の地下に設置する調節池に関する基本協定書』
の凍結を求める請願

日頃より町田市におかれましては、地域スポーツの振興に尽力頂いている事に感謝する次第です。

現在お陰様を持ちまして金森西田スポーツ広場は地域住民に愛されています。地域の催し会場やスポーツを楽しむ場として、近隣保育園の園庭として等、様々な分野において広く市民に活用されており地域住民の生活に無くてはならない憩いの広場であります。

しかし、そんな中平成25年に町田市及び東京都より金森西田スポーツ広場が東京都の『境川金森調節池』整備事業の整備地として選定予定との旨が説明されました。その後、平成27年9月に説明会があり、地域住民より調節池の必要性や搬入出車両等の搬入出路についての安全確保等について、意見が殺到し東京都側も対応に追われておりました。

その後、東京都からの説明会は暫くなく町田市の担当部署等の話しでは「相模原市側を搬入出路として検討している」との事でした。また、この間金森西田スポーツ広場を使用している諸団体より「毎月約4,000名の方々が広場を利用しており、代替え地の用意して欲しい」との意見を町田市及び東京都に要望をしておりましたが、こちらも「東京都の事業が現在滞っている為、何とも言えない」との事でした。

その後、5月22日に第2回の説明会が開かれました。内容としては前回の説明会と大きな変更点があり、利用者等への考慮を含めて分割して一面ずつの工事で進めるとの工程計画が工期の短縮を進める為、一括しての工程計画となっておりました。

説明会の参加者からは、相変わらず調節池の必要性や搬入出車両等の搬入出路の安全確保及び騒音対策、代替え地の確保等について意見が殺到しており、住民合意の状態とは到底思えない状態での説明会でした。しかし、東京都の職員は「どんなに反対意見が多くても計画を実行するのか」との質問に「その通りです」との答弁をし、強硬姿勢を崩しませんでした。また、安全確保についても「警備員を各カーブに配置する」との対応のみであり、

それ以上の対策はありませんでしたし、代替え地の課題についても「未だ決定していない」との事であり進展は全くありませんでした。

今回の事業計画案が示す搬入出車両等の搬入出路については、先日搬入出路内の T 字交差点で小学校 1 年生が大型車両ではねられて死亡するという痛ましい事故が起きており、この搬入出路についての安全確保については市民の関心事項であります。しかし、今回の説明会での答弁の中で「搬入出路内が通学路になっている南第一小学校への説明はこれから行う」との事であり、この間説明を十分にしていない事が明らかになりました。

また、今回の事業計画の趣旨についても、「下流部の河川安全対策」が非常に強く、肝心の下流部については、神奈川県が全く整備工事を行ってない状態であり、「下流部の神奈川県のために東京都が今回の調節池を約 150 億円掛けて整備するのはおかしい」との意見も多くあった通り、整備事業計画自体の必要性についても、まだまだ議論をする必要があると実感しました。

よって今回の金森西田スポーツ広場における「金森調節池」整備事業について、事業の必要性、搬入出路の安全確保や騒音対策等の住民合意及び代替え地の確保がなされる迄の期間、既に東京都と町田市で結んでいる『町田市金森六丁目 1406 番 1 外の地下に設置する調節池に関する基本協定書』を凍結して頂く様、請願致します。

請願項目

- 1 本事業の必要性や搬入出車両等による安全確保、騒音対策を含めた地域住民の合意及び代替え地の合意迄東京都との『町田市金森六丁目 1406 番 1 外の地下に設置する調節池に関する基本協定書』の凍結をする事。
- 2 住民合意の為、搬入出路沿道及び通学路となっている小学校、地域住民への継続的な説明会を開く事。

以上